

天かける神々 出雲へ



奉納した日本画「神在月—高志から出雲へ」の前に立つ川崎日香さん(左)と川崎さん提供

新潟の川崎さん 日本画、大社に奉納

新潟県上越市の女性日本画家、川崎日香さん(37)が、神在月に出雲大社(出雲市大社町)を旨とする神々の姿を描いた日本画の大作「神在月—高志から出雲へ」(縦1・8尺、横5・4尺)を出雲大社に奉納した。川崎さんは「多くの人に見てもらいたい」と話している。(佐藤一輝)

川崎さんは、歴史書「古事記」登場し、古代の北陸方面にあったという「高志国」を治めたとされる鸕鷀の女王「奴奈川姫」をテーマに多くの作品を描いている。高校時代、同郷の日本画家・小林古径(1883~1957年)の作品や、趣味で日本画を描いていた祖母などに影響を受け、京都造形芸術大学に進んで日本画を専攻。大学院を出た後、故郷の上越市に帰り、本格的に画家としての道を歩み始めた。

奴奈川姫については「名前を知っている程度」だったそうだが、約10年前、新潟県糸魚川市の郷土史家の書画に「奴奈川姫の絵を寄せることになった。古事記を読み、古代に北陸を治めた強さに加え、賢さ、美しさを併せ持つ女性だったと知り、「女性として、非の打ち所がない神様」と感じたという。

金箔や翡翠「奴奈川姫」描く

また、優しい母親でもあったことが、当時、第一子を身ごもっていた川崎さんに親しみを感じさせた。「こんなにすてきな神様が身近にいるというのを知ってもらいたい」。依頼された絵を完成させた後も、奴奈川姫の絵を描くようになった。

今回、奉納したのは、高志国の神々が奴奈川姫の魂を乗せたみこしを携え、黒い雲の中、出雲大社へ向かって空を飛んでいく様を描いた大作。背景の勾玉は純金箔を貼って色を染めたほか、糸魚川市産の翡翠を砕いた白色の顔料を使ってなどして着色した。完成までに1年半ほどかかったという。

出雲大社の祭神「大國主命」は、奴奈川姫と恋仲にあった縁などから、出雲大社も奉納の申し出を快諾した。現在、祈禱受付所で公開されており、観光客らが鑑賞している。

川崎さんは、高志国と出雲の国の人々が互いに移り住んでいたという古事記の記述に触れ、「この絵を通じて、両国の関わりをたくさんの人に知ってもらいたい」と話していた。

県内就活参加学生 関東や関西に年末の帰郷内就職を考えると、県中小企業は、松江市で活躍している。企業は「一定財団」な県内を中心に通信業、金融の103団体外の大学、短門学校の全学各社の企業紹介コーナーを設中央会には自身の学生に無料になるボランティアに参加し魅力を知って今年初めて無バス利用は加し、アンケートが条件若順で定員45

益田日赤建て替え完成

救急体制強化 来月から外来診察

益田圏域の中核病院で、老朽化などで建て替えを進めていた益田赤十字病院(益田市吉町)が完成し、6日、内覧会が行われた。救急時に備えた屋上ヘリポートや、車椅子患者らを受け入れる高度治療室(HCU)を新たに設けるなど救急医療体制を強化した。来年1月4日から外来診察を始める。



完成した新しい益田赤十字病院(益田市)

同病院によると、従来の病院は1971年に建てられ、耐震性が不足していたため、現在地の北側に新築することになり、2013年10月に着工した。事業費は約100億円。

新病院は鉄筋コンクリート6階建ての免震構造で、診療科は20科で、病床数は圏域の人口減少を見込んで、現在の327床から284床に減らし、患者1人当たりのスペースを広げた。新生児集中治療室(NICU)や、24時間態勢で重篤な患者を集中的に治療・看護するHCU、医療従事者の研修棟などを設けた。

屋上ヘリポートは来年秋から運用を始める予定で、益田市の石見空港を経由して行っている患者の搬送が、現在より約10分短縮されるという。来年秋までに

現病院を解体し、約260台分(現在約120台分)の駐車場を整備する。木谷光博院長は「災害時などにも安心な病院となった。この病院の原点は農村医療であり、地域の医療に貢献したい」と話した。(熊谷暢聡)

益田署は6日、浜田市治和町、無職岩本一也容疑者(31)を非現住建造物等放火容疑で逮捕した。

発表によると、岩本容疑者は11月9日午後11時30分頃から同10日午前3時24分頃までに、益田市木部町のDVD販売店「ヤッホー益田店」→浜田市後野町の男性30経営に火を付け、

益田署は6日、浜田市治和町、無職岩本一也容疑者(31)を非現住建造物等放火容疑で逮捕した。

発表によると、岩本容疑者は11月9日午後11時30分頃から同10日午前3時24分頃までに、益田市木部町のDVD販売店「ヤッホー益田店」→浜田市後野町の男性30経営に火を付け、

また、優しい母親でもあったことが、当時、第一子を身ごもっていた川崎さんに親しみを感じさせた。「こんなにすてきな神様が身近にいるというのを知ってもらいたい」。依頼された絵を完成させた後も、奴奈川姫の絵を描くようになった。

良

衣町95-1 23-1413
殿町17-3 殿田ビル4F 22-1102
22-3388 22-0451 23-7331
jp/local/shimane/ 38-8202 21-5718 38-8200

灸

薬店で 78-1009
お悩み 創作 住民ら 制作に 職人の 作工房

うまみ一新 飯南・新酒発売



1929年創業で、飯南町唯一の酒造会社「赤名酒造」が6日、今年醸造した「新酒」純乃峰特別純米酒を発売した。同町産の五百石の一等米を60%まで精米して仕込んだ原酒で、濃厚と芳醇な香という。同社は20

事務所兼倉庫(約380平方)と、有田町の空き家と納屋(計約340平方)が相次いで全焼する不審火があった。岩2件について旨の供述を、同署が詳